

平成30年 支部研修旅行 — 北勢の旅 —

常任理事長 安藤 蘇道

▼日時 平成三十年十月二十八日(日)

▼行先 北勢(湯の山方面)

昨年と全く違い絶好の秋晴れです。朝八時前西成支所出発。いちい信金駅西支店、尾西庁舎の順で参加者全員を乗せ天候の様に快く北勢の旅へ。心配した渋滞もほどほどに四日市インターを予定通り降り、先ずはパラミタミュージアムに到着。常設の池田満寿夫の心経、佛面等の彼の表現に奇才(?)を感じ：今回は近代洋画名作展が開催中で、モネ・ユトソロ・シャガール・ピカソ・ルオー・マチス等数々の見応え有る画家達の作品が展示されており大変感動しました。目的地の三ヶ所は存外近くに在りバスに乗ったらずぐ次の場所！もう二ヶ所目のアクアイグニスに着きました。天然温泉に真つ先に入浴する人。辻口シェフの有名なスウイツセットを食す人。お土産をアレコレ買つて大事そうにバスに戻る人等々：買い物も旅の楽しみのひとつですよ！ベテランガイドさんの愉快なおしゃべりも、湯の山グリーンホテルの昼食も美味しく、予想以上で係としてはホッ。さあ期待の澄懷堂へ。以前に在った四日市駅近くの繁華な場所と違い、静かな山の麓の茶畑の中、田舎(?)



の古民家の様をなした塀にかこまれた重厚な建物に造り替えられていました。途中ロードレースと走るコースが重なり時間を気にしましたが親切に他の道を案内していただきお蔭で難なく澄懷堂に到着できました。想像に反して以外とこじんまりとしていました。館長のご丁寧なお出迎えを受け館内に案内されました。作品展示は数点でしたがやはり実物肉筆の迫力には凄いものを感じます。沢山の所蔵品が有る美術館なので又次の機会を作つて再度お越し下さい。との事。数点の作品でもその力強さや圧倒的な線質！古代からの贈り物でしょうか？年に何回かの掛け替えをする予定。今回拝見した作品展示はこの先三年間は無いそうなので度々足を運ぶ事が必要ですね。出発の朝寒かったのに今日は一日暖かで汗まで出る程の小春日和。本当に善い一日で去年の事を思うと心掛け

の良い参加者の方々に感謝。帰りの混雑も心配なので少し早めに澄懷堂をおいとま帰路に。バスの中では居眠りをする暇もなくピンゴを楽しんでいるうちに無事一宮に帰り着く事ができました。今回近場でしたが気に入っていただけでした。来年も懲りずにご参加下さい。